YAMAHA NEWS NO.71

ヤマハニュース

'69 5 MAY

ヤマハスポーツ50FS1

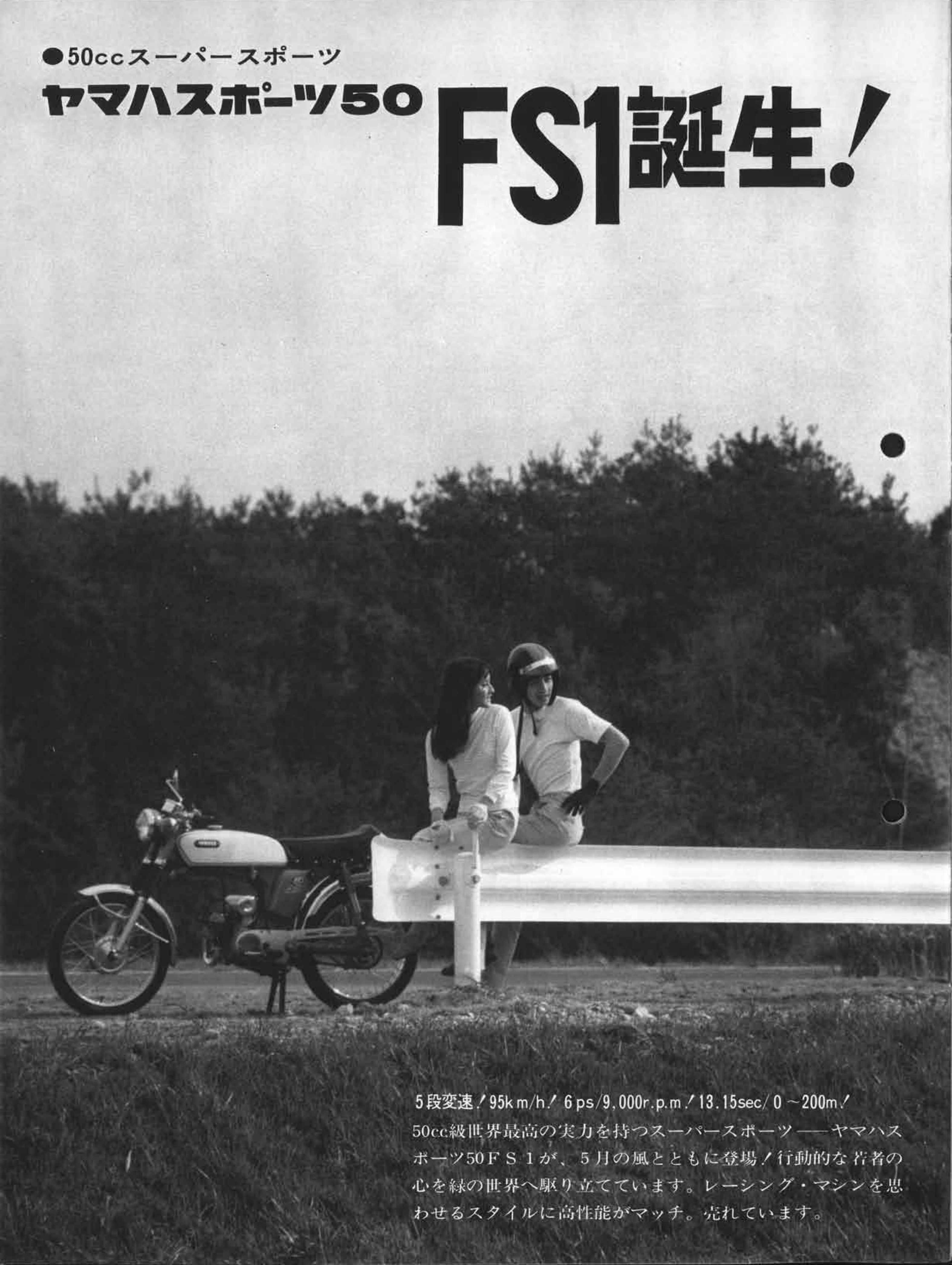
高品質を生むヤマハの技術

5

クランク鍛造

写真はプレス加工をおえ、機械加工を待つクランクシャフト材。

最高度の品質を要求されるエンジン部品。その中でもクランクシャフトは、もっとも高回転をしいられる部品のひとつだ。丸い鋼棒を高周波電流で熱し、何度もプレスする。ヤマハが他社にさきがけて採用したマイプレスは、圧力600トンの威力で、高品質をきたえる。


●50ccスーパースポーツ
ヤマハスポーツ50 FS1誕生！
5段変速！95km/h！6ps/9,000r.p.m.！13.15sec/0～200m！
50cc級世界最高の実力を持つスーパースポーツ――ヤマハスポーツ50FS1が、5月の風とともに登場！行動的な若者の心を緑の世界へ駆り立てています。レーシング・マシンを思わせるスタイルに高性能がマッチ。売れています。

ヤマハスポーツ50
FS1

▼白い大型タンク、セミダブルシート、
アップマフラーと魅力充分な全姿

▼ゴムブーツのついたフロントフォーク、大型ランプ類と、125ccと見まちがえるような車格を持っている。

ヤマハ FS1仕様諸元

●寸法
全長……………………… 1,755mm
全巾……………………… 555mm
全高……………………… 935mm
軸間距離………………… 1,160mm
最低地上高……………… 135mm

●重量
乾燥重量………………… 70kg

●性能
最高速度…………………95km/h
舗装平坦路燃費…80km/ℓ(30)km/h
登坂能力…………………… 18°
最小回転半径…………… 1,800mm
0～200 加速……………13.15sec
制動停止距離…… 7m／(35)km/h

●原動機
エンジン種類… 2サイクル、空冷
ロータリーバルブ
気筒数配列…………単気筒、前傾
総排気量……………………49cc
内径×行程………………40×39.7
圧縮比…………………… 6.9：1
最高出力…… 6PS/9,000r.p.m
最大トルク 0.5kg-m/8,000r.p.m
始動方式………キックスターター
点火方式……………マグネト点火
燃料タンク容量…………… 6.0ℓ
オイルタンク容量………… 1.4ℓ
潤滑方式…分離給油、オートルーブ
バッテリー容量…… 6V、4AH
発電機種類………
フライホイールマグネトー

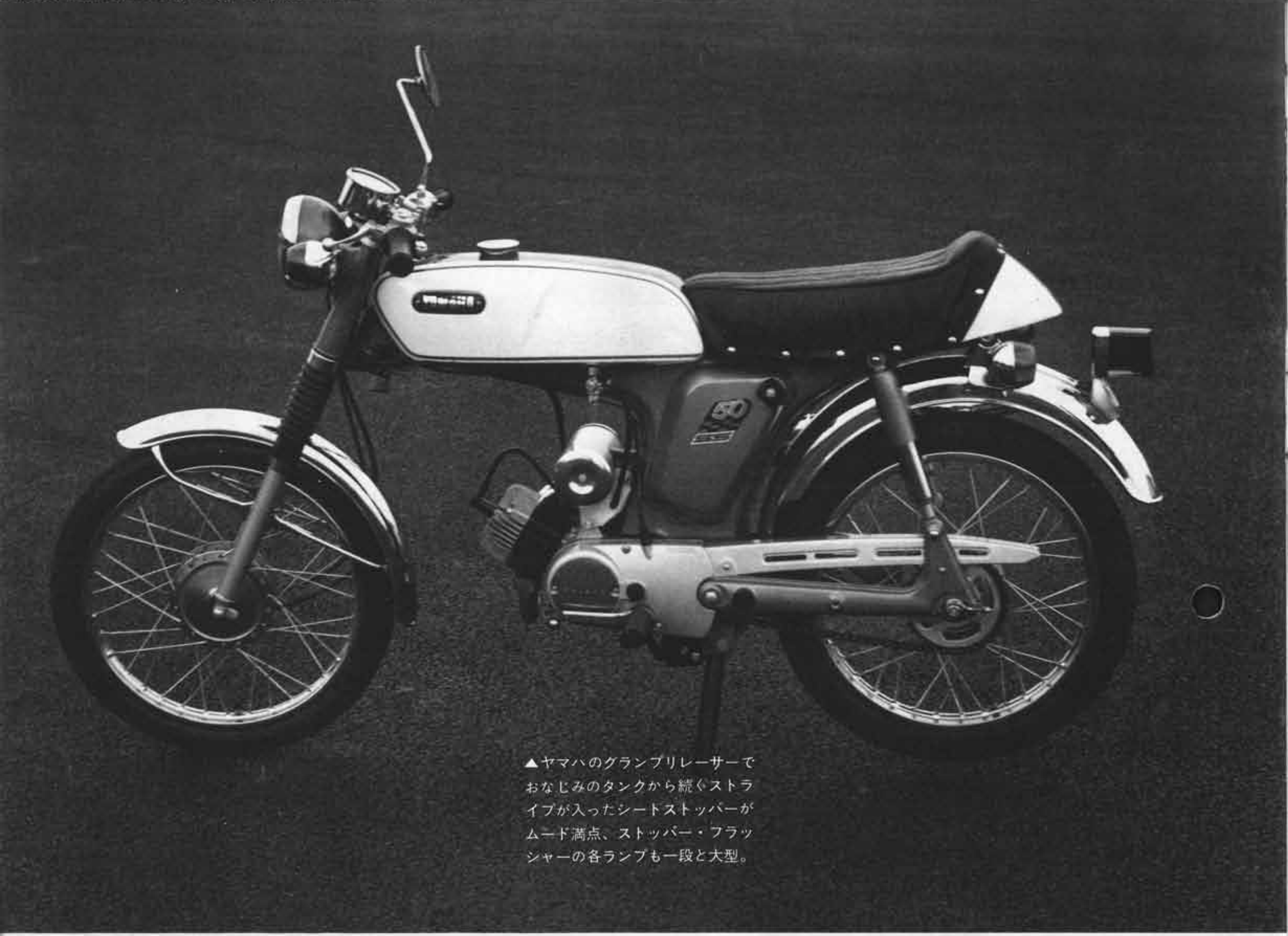
●動力伝達装置
1次減速機構…………………歯車
同上減速比……… 3.895 74／19
2次減速機構…………チェーン
クラッチ形式……………湿式多板
変速機
形式…………常時噛合、前進5段
操作方式………………………足動
変速比1速……………… 3.417
〃 2速……………… 2.059
〃 3速……………… 1.476
〃 4速……………… 1.167
〃 5速……………… 1.000

●走行装置
タイヤサイズ…前(2.25-17-4PR)
(タイヤパターン) 後(2.50-17-4PR)

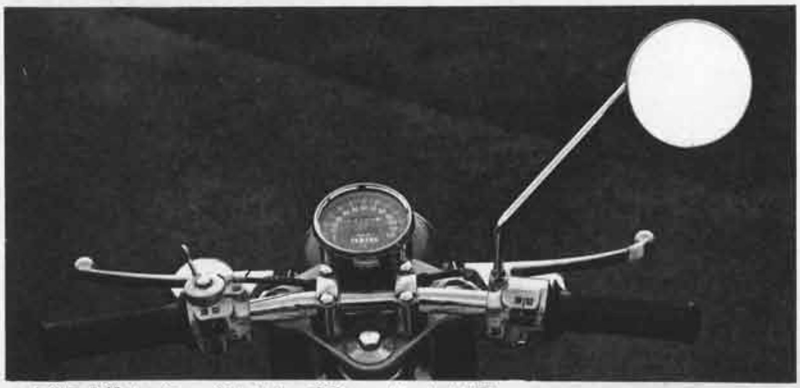
●フレーム形式 鋼板バックボーン

●燈火
パイロットランプF………………
〃 C………………
〃 H………………

真白い流麗なタンク、レーシングストライプに、ストッパー付のセミダブルシートとスポーツそのものの50c.c. FS1が発売され各地で大きな反響を呼んでいます。九千回転で6.0馬力を出すオーバースクエアタイプエンジン、この力をフルに引き出すミッションは高速型5段です。ボディは軽く丈夫で定評のある全面熔接のセブンスタイルを採用、タンク容量は6.0ℓと大型、あらゆる条件で不安のない走行が出来ます。ハンドルはスポーティーな一文字ハンドル、それに加えて白いストライプ入りタンク、ストッパー付のセミダブルシートがこの車を特長づけています。16才からの高校生を対象とした、ビギナー用のスポーツ車は、ユーザーのその後の銘柄指定を決定させる大きな役目を持っています。ヤマハファン開拓のための力となるこの新しい50c.c.スポーツFS1を有効にお使い下さい。



▲ヤマハのグランプリレーサーでおなじみのタンクから続くストライプが入ったシートストッパーがムード満点、ストッパー・フラッシャーの各ランプも一段と大型。



▲大型の分離メーター、精かんな一文字ハンドルと本格派

▲ブレーキはもちろん定評のある、ヤマハ独自の防塵防水型で高速走行にも不安はない。

▲ツールはバッテリーの下に格納される。バッテリーはコンパクトな6V

▲エンジンはロータリーバルブ、6.0馬力、オーバースクエアで9,000回転の高速エンジン。

働く90の新鋭車

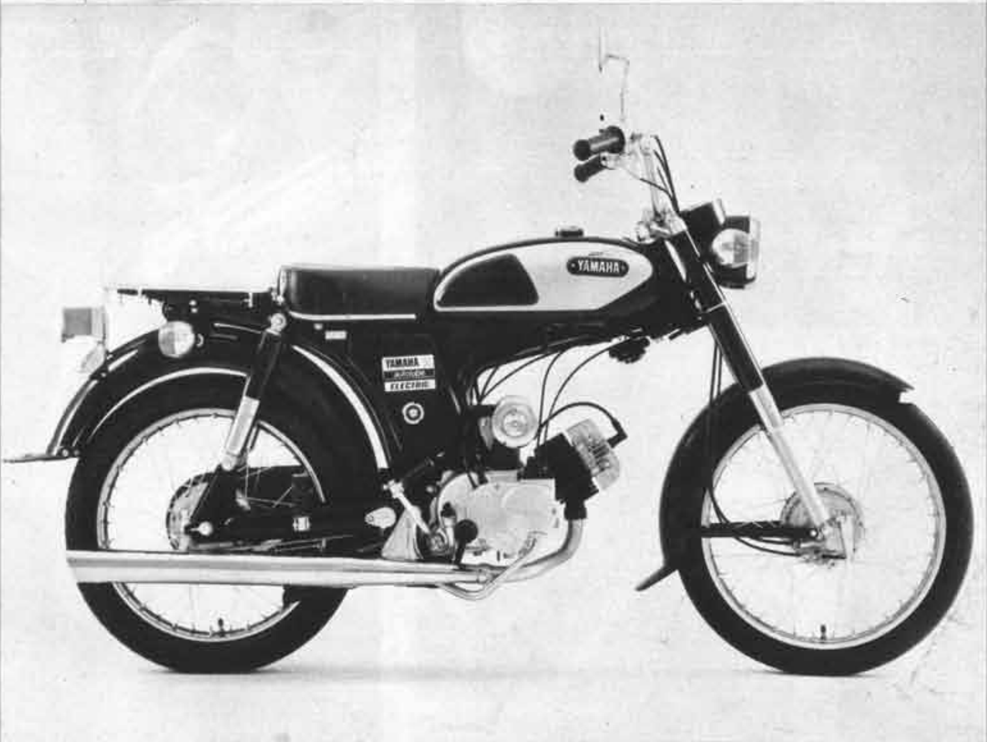
ヤマハ90H3-D　H3-ED

信頼度ます〈安全対策〉

●対抗車も安心、マーカーランプ●オーディオパイロットで点灯確認●ボールジョイント付きのハンドルレバー●ヤマハだけの防塵防水ブレーキ

使いやすい〈新機構〉

●便利な両面キー●大型キャリア●疲れないキルティングシート●ヒザにピッタリ[illegible]ンク形状●大きいタイヤサイズ●まき上げ式のハンドルグリップ



実用性が高く、広い範囲で使われているヤマハ90に、安全性を高めたニューモデルが生まれました。車体はセブンスタイルですが、全体にスマートさが増し、通勤通学など乗用にもおかしくないデザインです。リヤータイヤはひとまわり大きく(2.75−17)を採用し、安定性はさらに向上しています。実用性能の向上に、エンジンはトレール車H3Cのネバリをとり入れ、さらにキャブを20φの大型にし、低速性能もぐんとよくなりました。

特に安全対策は留意されていて、あらたに薄暮用のマーカーランプ、方向指示器に音の出るオーディオパイロット、あたってもケガのないボールジョイントのバックミラーなどが新たに加えられ、これまでの防塵防水ブレーキ、大型ランプ類などとともに万全を期しています。

その他、両面キーの採用も実用性を増しました。H3−Dは新開発のフラマグを採用、H3−EDはもちろんセル付でバッテリー点火になっています。

●ヤマハH3-D 仕様諸元

●寸法
全長……………………1,915mm
全巾……………………720mm
全高……………………1,060mm
軸間距離………………1,190mm
最低地上高……………140mm
●重量
乾燥重量………………87kg
●性能
最高速度………………100km/h
舗装平担路燃費………
75km/ℓ/(40)km/h
登坂能力………………22°
最小回転半径…………1,870mm
制動[illegible]距離…6.0m/(35)km/h
●原[illegible]
エンジン型式
総排気量………………89cc
内径×行程……………50×45.6
圧縮比…………………6.8:1
最高出力…8.0PS/7,000r.p.m
最大トルク……………
0.85kg・m/5,000r.p.m
始動方式………………キック
点火方式………バッテリー点火
燃料タンク容量………7.0ℓ
オイルタンク容量……1.6ℓ
潤滑方式………………
分離給油(オートルーブ)
バッテリー容量…12V、5.5AH
●動力伝達装置
1次減速機構…………歯車
同上減速比……3.894　74/19
2次減速機構…………チェーン
同上減速比……2.643　37/14
クラッチ形式…………湿式多板
変速機
形式…………常時噛合前進4段
●走行装置
タイヤサイズ…………
(タイヤパターン)
前　(2.50−18−4PR)
後　(2.75−17−4PR)

なんでもやろう！

三光ツーリング・メイト

オートバイでやれる遊びなら、なんでもやろう！そんな精神で発足したヤマハ・ファンのクラブか、ラリーにツーリングにトレール教室にと活躍しています。静岡県清水市のヤマハフレンド店、三光モータースのお客さんで組織している「三光ツーリング・メイト」です。正式に発足したのは今年の春。会長の伊藤文一さん（製材業）が五十八才、副会長の鈴木光太郎さん（造船会社勤務）が五十一才と、かなりのお年なのを例外とすれば、会員の平均年令が十九才という若若しいメイトたちです。日曜ともなれば、おそろいのヘルメットにワッペン。愛車にヤマハの三角旗を立てて、三十台近くが隊伍を組んで堂堂のツーリング。このスタイルで旅館に乗りつけたところ「ヤマハオートバイを売りに歩く人たちけえ」と間違えられたこともありました。三光ツーリング・メイトは、お茶の香りと次郎長についで、清水の名物になりそうです。このメイトたちが、ある日、静岡県下で行なわれたラリー競技に参加しました。

◀「ほう、一斉スタートじゃないのか」ラリーはまったくはじめてとあって、他人のスタートをものめずらしそうに見物。「おいおい大変だ。オレたちの番だぞ！」

◀スタート地点の駿府公園に勢ぞろいするや、応援にきた三光モータースの経営者、遠藤さんからラリーのABCに関する特訓。いやはやあわただしいの、なんのって。

▲「あれぇ。こりやァとばしすぎたかな」ヤマハスポーツの快調さにつられて、まっさきにチエックポイントにとび込んでしまった50代コンビ。

▲それぞれマイペースで走ってるつもりでも、すぐに一カ所にかたまってしまう。この仲のよさ。「ゼッケンつけて、マスツーリングかい？」

も待ちきれずにほおばる昼食のうまいこと。
からね。「オートバイこそ健康のヒケツさ」
る。

こういう悪路では、トレール教室でおぼえたばかりのライディング・テクニックが、さっそくモノをいう。カッコいい！

「勝敗は天にまかせて」とにかくツーリング気分で走り出した。景色はいいし、気候はのどかだ。これで1等になっちゃ申しわけないね

▲ついに成績の発表！減点ゼロで優勝した選手が3人も出た好レース。ところが三光ツーリングメイトは、会長の伊藤さんが減点37。副会長の鈴木さんが27。270人の選手の中では何番目？「若いつもりなのに、敬老賞とは」表彰を受ける鈴木さん（右端）と伊藤さん（そのとなり）

▲ゴール・イン！　ヘルメットをはずすマなにしろ150キロのコースを走破したんだおそろいのワッペンの若い仲間に話しかけ

ヤマハ 快調の出足——

GPに圧勝

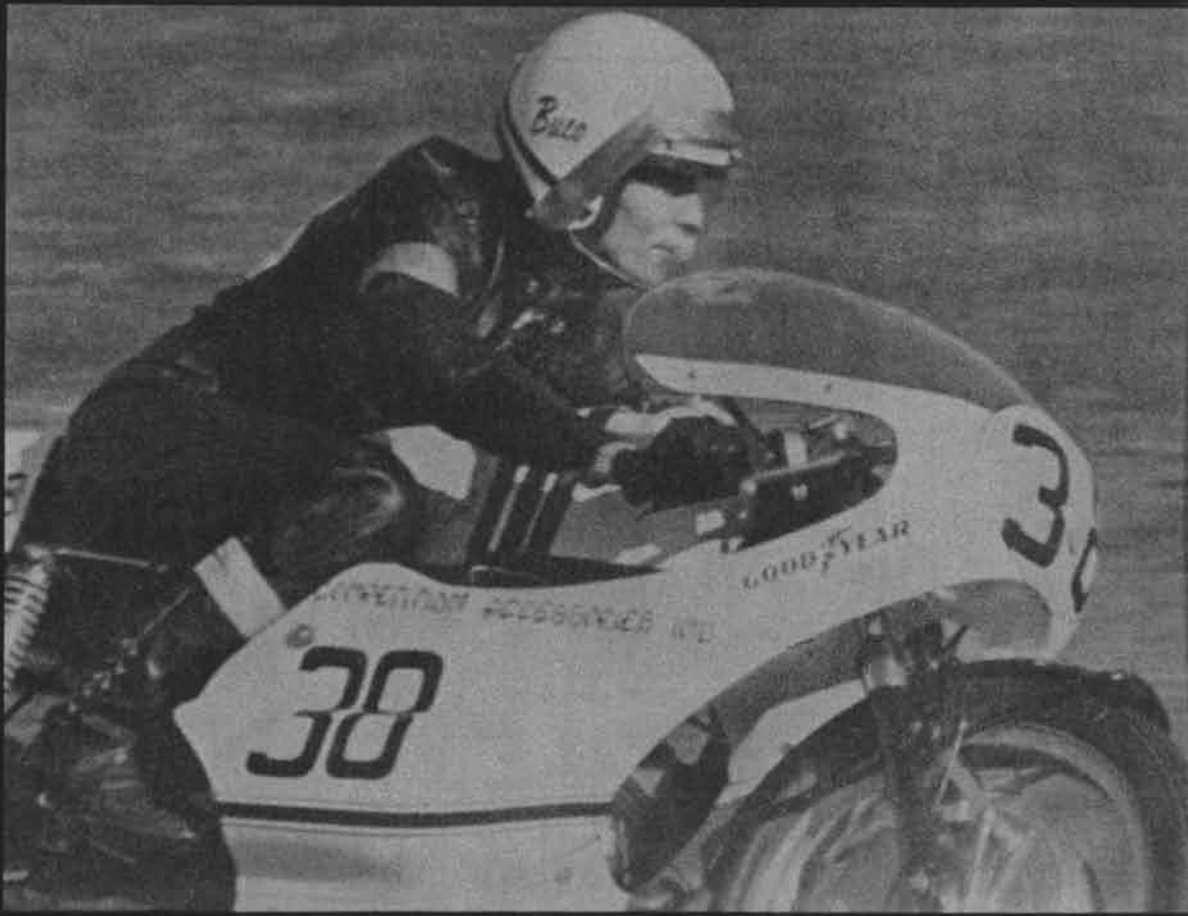
アメリカ最大のロードレースである '69デイトナエベントに、ここ数年来圧倒的な強さを示しているヤマハレーサーが、またまたその本領を十二分に発揮しました。

メインエベントのエキスパート 100マイルレースで昨年にひきつづき二連覇をとげたのをはじめ、100マイル・アマチュア選手権、スポーツマンレースに快勝、オープンクラス200マイルレースでもクラス別優勝をとげたのです。

シーズン開幕！ '69レーシング・ヤマハは快調なスタートを切っています。

選手そこのけのスタイルも登場
イニュース・ジャーナルより)

おいわいを受けるミューラー選手
ジャーナルより)



▲ぶっちぎれの独走で 100マイル・アマチュア選手権に優勝したミューラー選手。ヤマハで記録を大巾に更新した。（デイトナビーチ・モーニング・ジャーナルより）

ヤマハ本領発揮！ エキスパート 100マイルレース

3月16日（日）のエキスパート100マイルレースに、新鋭250cc.TD—2を駆って出場したカナダのエース、イヴォン・デュアメール選手が最初からトップに立って、全くあぶなげなく完勝。昨年に引き続きデイトナ100マイルレース二連覇を遂げたのです。

同選手は、この二、三年来めきめきと頭角をあらわしてきたヤマハのホープですが、地元のカナダではもちろんナンバーワンであり、アメリカのエースG・ニクソン（かつて日本GPにも出場）に優るとも劣らない練達のライダーです。

今年はレース前から、レーサーはヤマハ、ライダーはデュアメールとのよび声が高かったわけですが、まさに予想以上の鮮かな勝ちっぷりでした。

さらにこのレース2位〜6位までの上位入賞者の中、4位にカワサキのC・レイボーン（68—69 200マイルレース優勝者）が入っただけで、他はすべてヤマハのライダーが独占してしまいました。

1、Y・デュアメール　ヤマハ
2、R・ピアース　ヤマハ
3、R・ゴールド　ヤマハ
4、C・レイボーン　カワサキ
5、M・タッフ　ヤマハ
6、P・ケロンド　ヤマハ

他の2クラスも制覇

ヤマハのデイトナでの活躍は、エキスパート級のみならず、その前日、前前日のアマチュア選手権、スポーツマンレースでもめざましいものがありました。

14日の100マイルアマチュア選手権オープンクラスでは、R・ミューアーの350cc.ヤマハが、トライアンフ、マッチレス、ハーレーといった大型バイクをほとんど問題にせず、96・10マイル／時のレース平均時速の新記録で優勝、また15日のスポーツマンレースには、ヤマハ125cc.コーパートレーサーが出場して勝利を収めました。

エキスパートオープンクラス 200マイルレース

雨のため1週間のびて3月23日（日）に行われたデイトナオープンクラス200マイルレ

'69 レーシング

デイトナ

▲無敵のヤマハでエキスパート 100マイルレースに優勝したデュアメール選手「ほんとうは雨のレースは苦手なんだけどね」(ザ・サンデイニュース・ジャーナルより)

▲アメリカン・フットボールの
したデイトナGP。(ザ・サンデ

▲ミス・モーターサイクルから
(デイトナビーチ・モーニング・

・ースに、待望のヤマハ350c.c.TR―2レーサーがデビューしました。

このレース、初陣ながらヤマハは健闘、カナダのベテランM・ダッフが総合3位に入賞しました。

同排気量の他銘柄レーサーはまったくヤマハに歯が立たず、実に2倍以上の重排気量レーサーと互角にわたり合ったTR―2の高性能は専門家を驚嘆させるに十分なものがありました。

お客さんも喜こぶし、1石2鳥のヤマハ中古車市。— 写真はいずれも岡山市会場。

●シーズンにさきがけた三月十六日、岡山県下のヤマハフレンド店が協力して、各地ではなやかな催しをくりひろげました。

●岡山市では、市内のフレンド店二十八店が新幹線の開通を控えて活気づく岡山駅前の林原モータープールで「ヤマハ中古車市場」「ヤマハオートバイ新車発表会」「岡山ヤマハボートショー」「メイトぬり絵コンクール発表会」など、盛り沢山の行事を共同主催し、気勢をあげました。

●倉敷市では、十七のフレンド店が協力して倉敷スケートセンターで「中古車展示即売会」を開催しました。展示した中古車五十台のうち、約三分の一にあたる三十五台が即売されるという、たいへんな好成績でした。

●津山市でも、フレンド店十六店が、ヤマハ岡山津山営業所の広場に中古車を持ち寄り、展示即売会を開きました。

●この三つの会場の上空を宣伝用にチャーターしたセスナ機がとびまわり、景気をさらにあおりました。

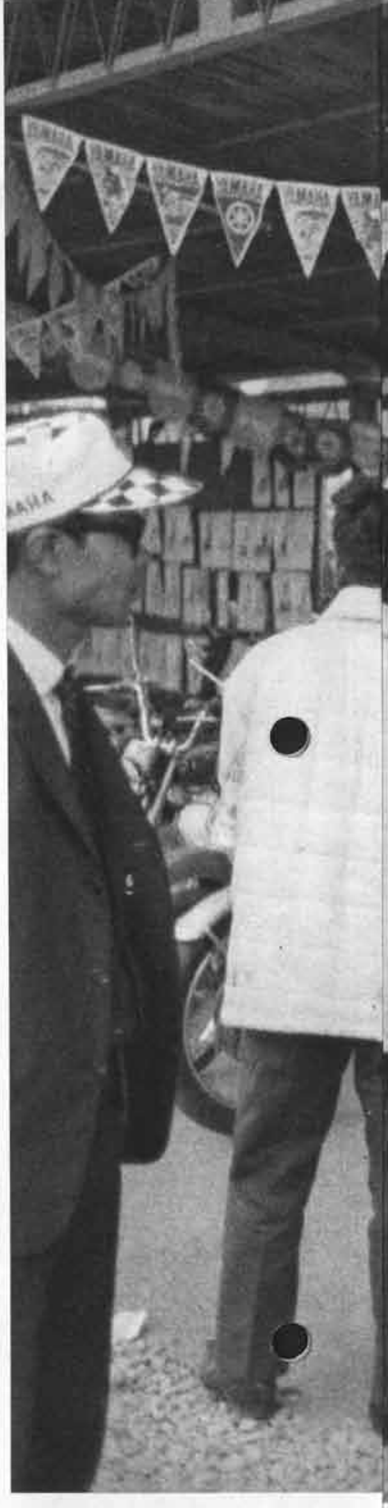
●三会場を合わせて、中古車の出品は百八十六台。このうち七十六台が、即日売れるという快調ぶり。この中古車展示即売会も、これからは各地で定期的な催し物になりそうです。

◀新聞折込みチラシのウラを利用して、ぬり絵コンクール。応募の山ととり組むヤマハ岡山の人たち。

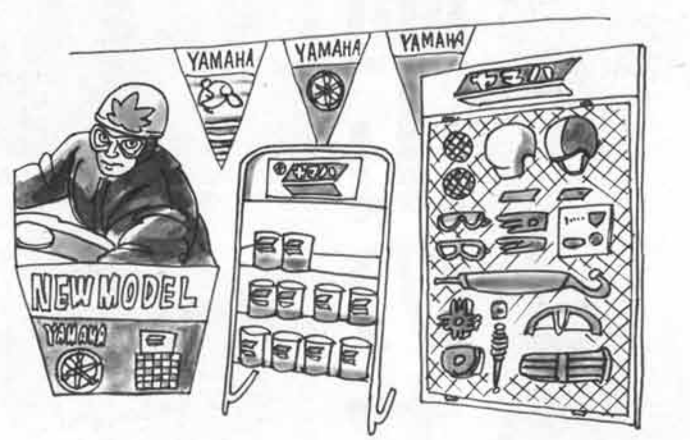
岡山のヤマハフェスティバル

ボートショーから中古車展まで

「ボクの絵があった！」入選通知をもらった親子づれが、ほとんど全員、来場した。



▶水のシーズンも間近かとあって、ヤマハ新艇が勢ぞろいしたボートショー会場。



POP広告

POP（ポップ）という言葉が、最近、よく使われています。

POPは **Point of Purchase advertising** の略で、商品が最終消費者に購買される地点、つまり、お店の店頭を指します。

だから、店頭に掲げられているポスターやディスプレーなど、一連の広告物をPOP広告と呼ぶわけです。

お客さまが店に入ってきたとき、これら店頭で目につく広告が効果的であれば、購買意欲がそそられ、販売促進につながります。

POP広告は、あらゆる商品について、重視される傾向にあります。ポスターのはり方一枚、展示の方法ひとつが、売れるお店づくりのカギになります。

ヤマハのPOP用品を有効に活用してください。

コトワザ あれこれ

すこしお堅いようですが、今月は、〝石〟に関するコトワザあれこれをご紹介しましょう。

「**石橋を叩いて渡る**」念には念を、用心のうえに用心を、という意味です。「**石の橋も叩いて渡れ**」というと、教訓になります。「**石に錠**」ここまで用心すれば、泥棒に入られません。

石は堅さのシンボルでもあります。「**石に判**」といえば、確かなうえに確かなこと。「**石に裃（かみしも）**」を着せたような人といえば、たいへん堅苦しい人のことです。

・でも「**石に立つ矢**」のたとえのとおり、一念をこめれば、どんなことでもできるかもしれません。

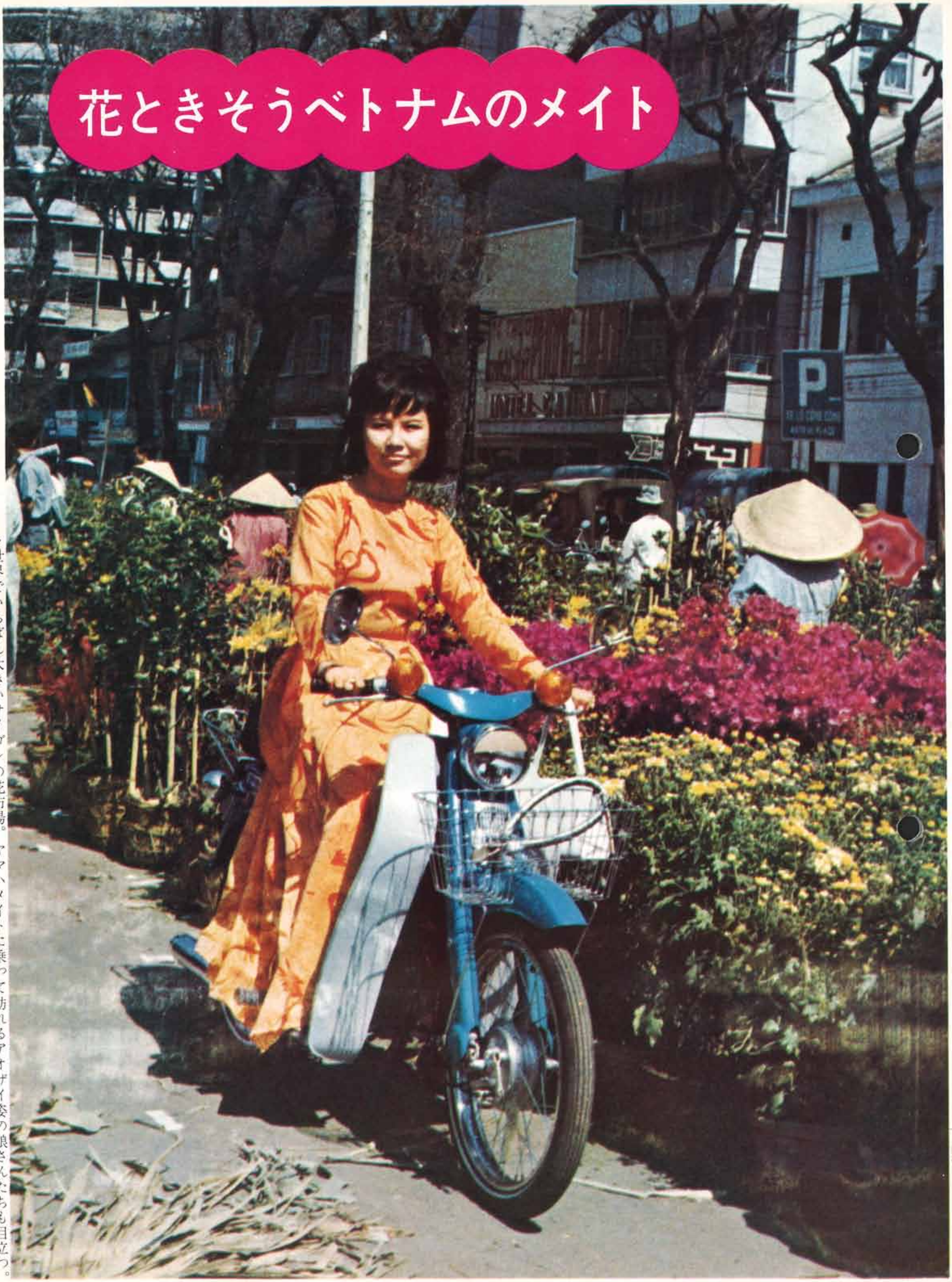
石はまた、沈黙の象徴でもあります。「**石に謎**」「**石に灸**」などは、まったく反応がありません。その反対に「**石仏も物を言う**」ように、ふだん静かに黙っている人でも、時には発言することもあります。「**石も物言う世の中**」とは、秘密がいかに守りにくいかを物語るコトワザです。

「**石の上にも三年**」有名な言葉ですが、石の上にも三年すわりつづければいごこちがよくなることを意味します。なにごとにも根気が大事というわけでしょう。

「**石に花咲く**」「**石の上の花**」は、現実に起り得ないことのたとえです。「**石が流れて木の葉が沈む**」は、ものがさかさになった状態をいっています。

☆**五月女に秋男**＝陰暦の五月は田植えどき。女性がいそがしくなる季節です。秋のとり入れどきになると、男の手が必要になります。いずれにしても、夫婦力を合わせてお仕事にあたれることは幸せです。

花ときそうベトナムのメイト



▶世界でいちばん大きいサイゴンの花市場。ヤマハメイトに乗って訪れるアオザイ姿の娘さんたちも目立つ。

◀爆撃のあともなまなましいサイゴンの街だが、戦時であることを忘れさせるひと時もある。

ベトナムでもヤマハオートバイの人気が上昇しています。一年前までは、サイゴンを中心に、ひと月にせいぜい五百台程度しか売れなかったのが、最近では、その十倍にあたる五千台をこえる月もあるほどです。

南ベトナム政府の方針で、輸入するオートバイは、すべて五〇cc.以下。とくにヤマハスポーツ、トレールの評判は抜群にすばらしく高性能、グッドデザインのヤマハの魅力が、認識されてきたようです。

ヤマハ愛用者の層は非常に広く、通勤や通学のかたわら、スポーツ走行を楽しむ人たちが目立ちます。

サイゴン周辺では、アオザイ姿の娘さんたちもヤマハメイトで買い物に。ヤマハはベトナムの人びとの生活の中に滲透しています。

［写真はヤマハアジア・南社員が撮影］

▶愛用のヤマハメイトによりそって、楽しげに語り合う娘さんたちの姿。近づいてくる平和の足音が聞こえるようだ。

▲この花市場は、ベトナムの旧正月を目前に開設されたもの。花を求める人びとの心は、平和を求める気持につうじるのだろう。

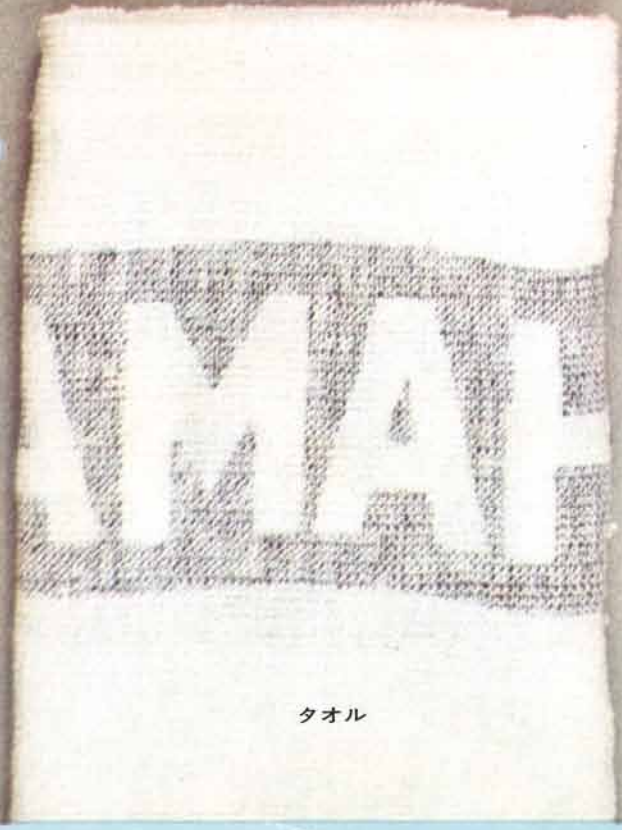
お客さんとお店を結びつける

ヤマハ販促用品をご活用ください

マッチ　3種

小銭入れ　2種

キーホルダー　2種



タオル

サインペン

ネクタイピン

バッジ

ガスライター

新しいヤマハ販促用品が誕生しました。美しいデザインのコインパースから、気軽にお客さんに使っていただけるマッチまで、セールスに役立つ美しい用品です。特別セールの記念品に、訪問のさいの名刺代りに、いろいろな用途にご活用ください。

みんなヤマハに乗りかえました

——三菱ボンネルモータークラブ(広島)からお便り——

前略ご免ください。

突然の便りで驚ろきのことと存じますが、貴社よりいつもヤマハニュースを送付していただき、感謝しています。

最近の貴社の発展を心より喜び、お祝い申上げるものです。

小生、現在三菱レイヨン広島工場の「三菱ボンネルモータークラブ」ヤマハ会会長をやっています。

小生が八年前、ヤマハYDⅡの新車を購入以来、モータークラブを発足させ現在に到っている次第ですが、一時はホンダ、スズキに押され、ヤマハ会もさびれそうになり残念に思っていましたが、貴社のトレール発売と同時に送付いただいているヤマハニュースの回覧と、小生のヤマハ熱に動かされ、いままではホンダよりヤマハに変る人が多くなり、小生も毎日が楽しみです。これにヤマハニュースがたいへん役立っていることを再認識する次第です。

さっそくに同封いたしました写真のごとくホンダよりヤマハに乗りかえた人で編成し、山口県の大島一周のツーリングを実施し、ヤマハ熱を盛上げました(44・3・23)

この写真は、小生を含め七名ですが、今回参加できない人も四名あり、また写真の中のホンダCLに乗った人も、近いうちにヤマハトレール250に交換する予定です。

また、ヤマハトレール125も好調です。ホンダ250CLも道の悪い場所はついて走れず、さすがトレールだと再認識していました。

現在では、小生の会社においてはスズキの新車はほとんど見当らず、ホンダも新車はあまり見当りません。

新車といえばなんといってもヤマハが多くなり、小生にとって、なによりうれしい次第です。

小生のYDⅡも今年の八月で九年ですが、まだまだ加速などにおいて、他の追従は許しません。メイトもぼつぼつ増大しています。

本日、写真を同封したのは、大竹地区の三菱ボンネルモータークラブをはじめ、近くの各会社などに宣伝、拡売を期するため、ヤマハニュースに掲載してもらったらと思い、ご無理は承知でお願い申上げるものです。ニュースに写真が出れば、なおヤマハ熱の向上間違いなしと思っています。

小生の願いは、このトレールシリーズにより、わが社の過半数をヤマハにと考えているものです。

今後小生できるかぎりヤマハのために努力し、ヤマハ増大に頑張りますのでなにとぞ、バックアップよろしくお願いいたします。

なおお写真の白のアノラックでYDⅡ250が小生です。

ツーリングの目的行先はホンダ車よりヤマハ車に乗りかえた記念のツーリングで、山口県のミカンの産地の「大島」一周でキロ数は大竹より往復約百四十キロぐらい。非常に楽しいツーリングでした。

ヤマハ発動機株式会社御中

広島県大竹市御幸町
三菱レイヨン広島工場整備課内
ボンネル・モータークラブ
ヤマハ会会長
植木 琢三

!トレール教室

フレンド店が大挙参加

（仙台支店発）

▲受講者は悪路の走り方を、インストラクターは指導の方法をまなぶ。

運転の基本的な技術と、オートバイの新しい魅力を身をもってつかめる〝トレール教室〟は、各地でたいへんな盛況をみせていますが、受講者の主力が、インストラクターとヤマハフレンド店という、変ったトレール教室が宮城県で開かれました。

この試みは、インストラクターの実地トレーニングとヤマハ特約店、フレンド店によるトレール教室運営の実習をかねておこなわれたものです。

春分の日とはいえ、冷たい風がほほをさす三月二十一日、まばらに雪の残る阿武隈川河畔で、トレール教室はくりひろげられました。

一級インストラクター六人、二級インストラクター五人、ヤマハフレンド店から三十人、地元のヤマハ特約店横山輪業商会からは菅野専務以下十人、宮城ヤマハからは秋山専務以下十五人が参加、ヤマハ発動機東北支店からも荒浪支店長以下全員が出席するという熱の入れようです。

これに一般受講者が二十人、そして百人をこす観衆が加わって、河原は時ならぬにぎわいをみせました。

教室は、終始、楽しい雰囲気の中で行なわれました。午前十時から午後三時にかけて、コーナリングやブレーキ操作、凸凹走行などの実習を中心に進行。ついで、アトラクションに移り楽しい遅乗り競争やスラロームをつうじて、安全のテクニックを競い合いました。

最後には、トレール教室の発展と交通安全を祈願して万才を三唱。なごやかに幕をとじました。

▲ハイジャンプ！より安全な走り方を知るための試練のひとつだ。

これはいけるぞ

インストラクター講習会に

▲「初心忘るべからず」オートバイにかけてはベテラン中のベテランであるインストラクターも熱心に実習。

▲アトラクションの入賞者は、ヤマハ発動機東北支店の荒波支店長から表彰を受ける。

▲一般受講者を対象に、トレール教室の運営方法を研究するフレンド店の人たち。

トレール教室

トレール教室は各地で盛況。楽しみながら安全運転のテクニックがまなべると、お客さまからも好評ですが、トレール教室がきっかけでヤマハトレールが大量に売れた地区も目立つなど、主催者側のヤマハフレンド店にとっても有意義な催しです。そこで、第三回目のトレール教室の開催を間近かにした静岡県清水市のヤマハフレンド店と、参加者のかたがたにお集まり願い、トレール教室の話題を聞かせていただきました。

●ご出席のみなさん（順不同・敬称略）

伊藤　文一（58才・製材業）
鈴木光太郎（51才・造船会社勤務）
長橋　匡明（26才・酒店）
柴　　市朗（22才・食料品店）
山崎　　満（22才・製薬会社勤務）
早坂　洋雄（21才・大工）
小泉　欣己（21才・会社員）
野島　早生（富士商会＝ヤマハフレンド店）
遠藤　正己（三光モータース＝ヤマハフレンド店）
村越　　昇（村越輪業＝ヤマハフレンド店）
岡部　敏彦（一級インストラクター）
司会＝ヤマハ発動機名古屋支店・中谷主任

三フレンド店が共同主催

司会　三保の海岸で開かれました清水地区のトレール教室は第一回、第二回とも盛況でした。近く第三回目を開催して、はじめての卆業生を送り出すわけですが、ここでは、三店のヤマハフレンド店さんが手をつなぎ合って、トレール教室を合同で主催なさったわけです。

野島さん

野島　一店よりも二店、二店よりも三店が協力したほうが、参加者の頭数がそろう。一店でやったところで、数がしれていると思ったからです。一年に一ぺん開催するより、三店で協力して、三ヵ月に一回でも、ずっとつづけていったほうがいいと考えました。

村越　トレール教室に参加した人は、みんな面白いといってくれます。運転免許は持っているけど、ふだんは自転車ばかり使っている人が、トレール教室に出ましてね、はじめてオートバイに乗って、すばらしい、さっそく欲しい、といってました。

遠藤　こんな話も聞きました。清水でトレール教室に参加した人が、ある日、静岡へ遊びに行ったところ、そこでもトレール教室が開かれていたんです。見てるだけじゃ、ものたりなくなって、とび入りで参加したそうです。

遠藤さん

岡部　どこの地区で受講しても、三回で卆業というサイクルを考えています。

村越　トレール教室を三店でやれば、お客さん同士、話をする機会ができます。北海道から仕事にきているお客さんが、トレール教室をつうじて、友だちができたと喜こんでいました。

岡部　清水では、参加者も多かったですね。

村越　宣伝をすれば、参加の希望者はたくさんあるでしょうが、はじめからドカンときても困まるので。

遠藤　お客さんに手紙を出せば、集まるんだが、集まりすぎてしまうので、一店あたり十人に制限しました。

どんな車も走れるコースを

野島　トレール教室というのはね、一般に、レースを教える講習会と受けとられやすいのです。だんだん、安全のためのテクニックを教えるんだということがわかってきたので、それならオイラもやろう、という人が出てきました。

岡部　第一回目は二月二日、第二回目は三月二日に、三保の海岸に五百メートルぐらいのコースを設けて、トレール教室を開いたんです。一日目はブレーキ操作を中心に、凸凹道や砂地などの応用動作をトレーニングしました。二日目はコーナーワークとアクセルターン、ジャンプをやりました。コーナーワークでは、とくにリーンアウトの姿勢で凸凹道をまがる練習に重点をおきました。

岡部指導員

司会　最年長の伊藤さん（58才）は、五十代になってから、オートバイに乗られるようになったそうですね。

伊藤　ほんとうのオートバイ好きっていうのだろうね。わしらは自動車に乗せてもらうと疲れちゃって、一日たまらないですね。ポンポンなら、今日らも伊豆一周してきたけど、疲れてないよ。休みのたびに出かけていって、三百キロ以上、ときには七百キロ以上走ることもあるけど…。オートバイに乗るようになったのは、子供が大きくなったからです。五十才から乗りはじめて、六、七台、乗りかえました。

村越　あのコースをR1で走ったんだからね。

早坂　えらいですね。

早坂さん

野島　これからは、コースの選定に気をつけなくてはと思っています。

長橋　だれでも、どんな車でも走れるコースをね。

トレール教室は楽しい

鈴木さん

鈴木　トレール教室は面白いものですね。タイムをきそうことなど度外視して、悪路をトレールして楽しむのがいい。わたしもオートバイに乗りはじめたのは四十六、七才からですが、年とってても、やればできるという自信が出てくる。もう少し広いところでできたら、もっと楽しいと思います。

岡部　コースは、せい一杯、広くしたつも

やってよかった

りですが、会場自体、場所がせまくてね。

山崎　人数が多すぎたからかな。

岡部　最初の日でも三十八人集まりました。

長橋　あのコースだと、トレール車でなければ、うまく走れない。

鈴木　直線コースでもいいんですよ。松原のそばなんか、松の根っ子が出てて、変化がありますよ。

村越　こんどのトレール教室は安倍川だね。

岡部　あのコースなら、どんな車でも走れますよね。

伊藤さん

伊藤　練習をする場所があれば、トレール教室をやる衆がふえるね。現状では、浜へ行って走るぐらいだもんね。トレール教室は、わしらでもやってみたいと思うんだから、若い衆には楽しいでしょう。

鈴木　わたし、青少年の不良化防止の補導員をやっていますが、オートバイを愛している人は、性格が非常に明るくて、いいムードしてますね。

実際に役立つ悪路の走り方

司会　乗り方の勉強になりましたか。

小泉　オートバイの乗りはじめに、正しい運転の基礎を知らないで乗るもんだから、間違っていてもわからない。それがトレール教室に行ってみて、悪路をそんな走りかたをしていてはいけないとか、いろいろ気がつくわけです。悪路の走りかたなど、ずい分、おぼえました。

小泉さん

長橋　あそこを走ることによって、車になれるというか、ハンドルのきり方など、うまくなりますね。

村越　とくにトレール教室をつうじて勉強になるのは、チェンジの使いかたとブレーキですね。

鈴木　先日、ラリーで悪路を走りました。トレール教室では、こういうとき、こういうふうに走ったな、と思い出しながら走ったんです。

野島　トレール教室にも、ああいったラリーなどとり入れていったらいいですね。ほかの地区じゃやっていると聞いたけど。

小泉　丸太など用意しないのかね。

柴　バランスをとる練習でしょ。

小泉　砂地だけより、そういうのをやってみたら、よけい楽しくなると思う。

村越　はじめは基本からやってって、うまくなったら、そういうものを取り入れるのもいいですね。

村越さん

長橋　いきなりやるのは危険をともなうから。

村越　ジャンプしている写真など見て、トレール教室をレースみたいに思う人もいるけど、実際には、メイトだけしか乗ったことのない人とか、いろいろな人がいるから、慎重にいかなきゃね。

柴　女の人も簡単に、トレール走行ができるということを強調しなくちゃ。

山崎　トレール教室に対する認識が、まだ浸透してないので、参加するというと、家のものに反対される。危険なものだと思ってるんですね。

村越　トレール教室を修了した人が、モトクロスと結びつくというケースもあるでしょうね。

長橋　モトクロスといっても、ほんとうは安全なんです。四年やってなかったのを、またはじめました。

運動会の楽しさも入れる

司会　トレール教室は話題になりますか。

山崎さん

山崎　うちの会社だと、四ツ輪を持ってる人が多いが、遊びで二輪に乗っています。その連中から、そういう面白い催しがあるんなら教えてくれといわれます。

早坂　わたしも、ふだん商売には四ツ輪を使い、オートバイは遊ぶほうだけです。

遠藤　実際に、トレール教室のムードが出かかっていますね。

柴さん

柴　ふだん、メイトを配達用に使っていますが、トレール教室をつうじて運転がうまくなれば、交通安全にもなるし…。

長橋　販売店さんも利益があるんじゃないですか。

遠藤　われわれのほうも、トレール教室でムードが出てきたから、商売がやりいいという面はあります。

鈴木　トレール教室をもっとPRしたほうがいい。アッピールしてね。年中行事のお祭りみたいにしたほうが楽しいですね。

柴　運動会みたいにしてね。パン喰い競争などもやる。

長橋さん

長橋　スラロームなどもね。トレール教室はスキーの技術も入ってるでしょう。

岡部　入ってます。リーンアウトなど、スキーと同じコツだといいますね。

小泉　ストック持った姿勢と、ハンドルを持ったときの肩の力の入れかたなどもね。

中谷主任

司会　こんど、東京支店と合同で、トレール教室の卆業生ばかりのトレール教室を伊豆でやろうと計画しています。トレール教室で安全運転のテクニックを習得した人たちが中心になって、グループをつくり、交通安全の指導的な役割りを果していってもらいたいですね。

ヤマハ100、125、250cc級に完勝

'69シンガポールGP

速報

（ヤマハアジア発）

三月の米国デイトナレースで69年度国際モーターサイクル・スポーツシーズンが、はなばなしく開幕されましたが、海外に活躍するヤマハチーム勝利の報が、またまたもたらされました。極東地域で日本GPにつぐ意義と規模をもつ'69シンガポールGP250ccクラスに、長谷川弘、本橋明泰のヤマハチームが完勝したのです。また、100cc、125ccクラスは現地ライダーのヤマハが優勝しました。

シンガポール・センバワンサーキット三・〇二三マイル十周の250ccレースは、ホーリックス・トロフィーレースとも呼ばれますが、RD05レーサーを駆って出場した常勝の長谷川、本橋のペアは、かなり余裕をもって走っていましたが、オープニング・ラップからその優位は絶対的でした。

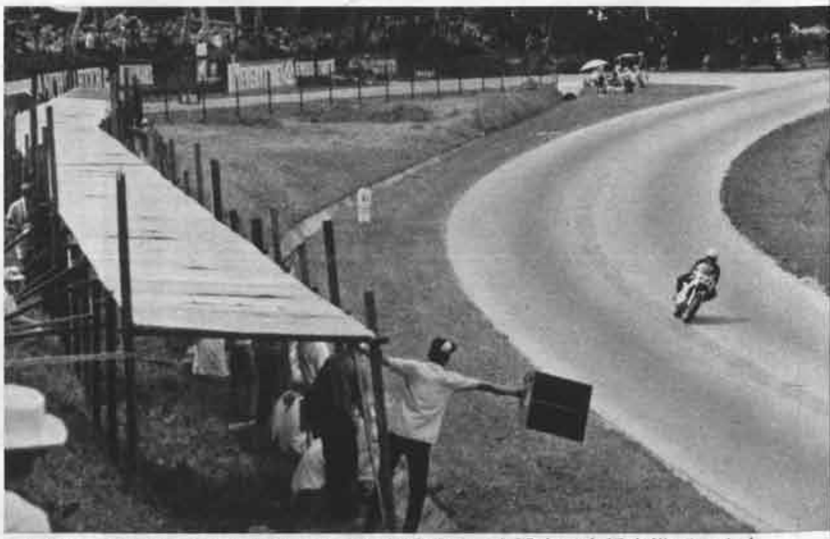
両者ガッチリと一位、二位を独占しながら三周目あたりから他のライダーを片はしからラップし、コース周辺をうめる現地大観衆を驚嘆させたのです。

現地で人気絶対の両選手は、さかんな声援を浴びながら、あいついでゴール・イン。ヤマハチームの完勝がなりました。

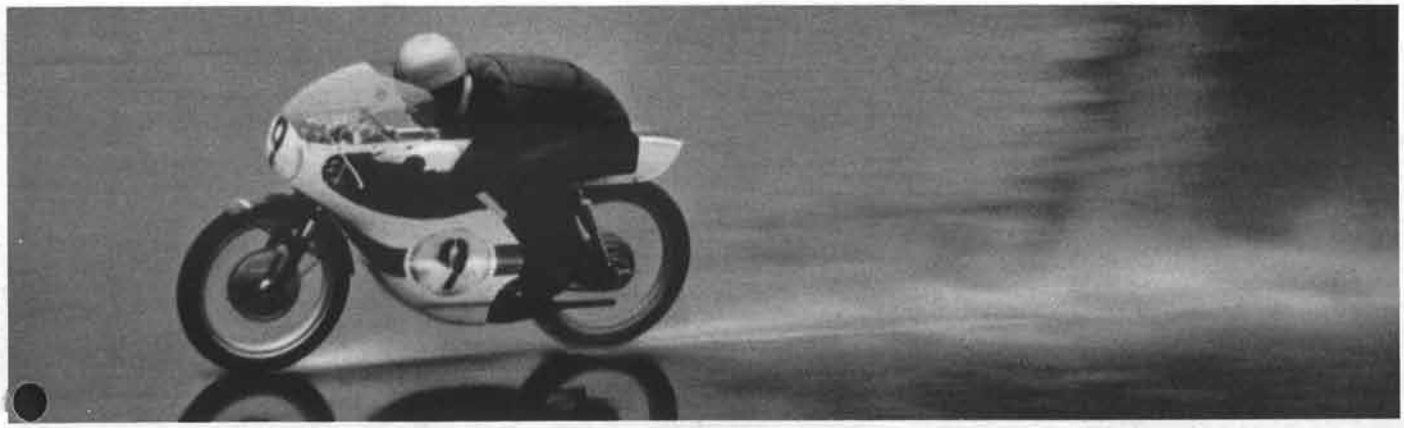
▲シンガポールで人気ナンバー・ワンのスターライダー　長谷川弘の豪快なフォーム。

▲現地ライダーもヤマハで大活躍。125cc級に優勝したウー・テック・ウイン選手。100cc級はブルドッグ・カーン選手が優勝

▲快心の勝利におわった250ccレース。の模様を語る長谷川選手（皮ツナギ服）



▲長谷川選手についで2位に入った本橋選手。大観衆の声援を浴びて力走。



風速15メートル下の力走

第12回全日本モーターサイクルクラブマンレース

雨と霧が風速15メートルの強風にあおられて、ときには視界ゼロ。そんな猛烈なコンディションの中で展開されたロードレースが、FISCOの観衆をわかせました。

三月三十日に開かれたMCFAJ主催の第十二回全日本モーターサイクルクラブマンレースは朝から悪天候。ノービス50cc.クラス、ジュニア50cc.クラスとヤマハに乗る御殿場サイクロン・クラブのメンバーが快勝したころから、風雨がはげしくなり、選手たちはビショぬれの力走をつづけました。

わが国のロードレース史上、おそらくは最悪のコンディションでしたが、レースは無事に終了。関係者も胸をなでおろしました。

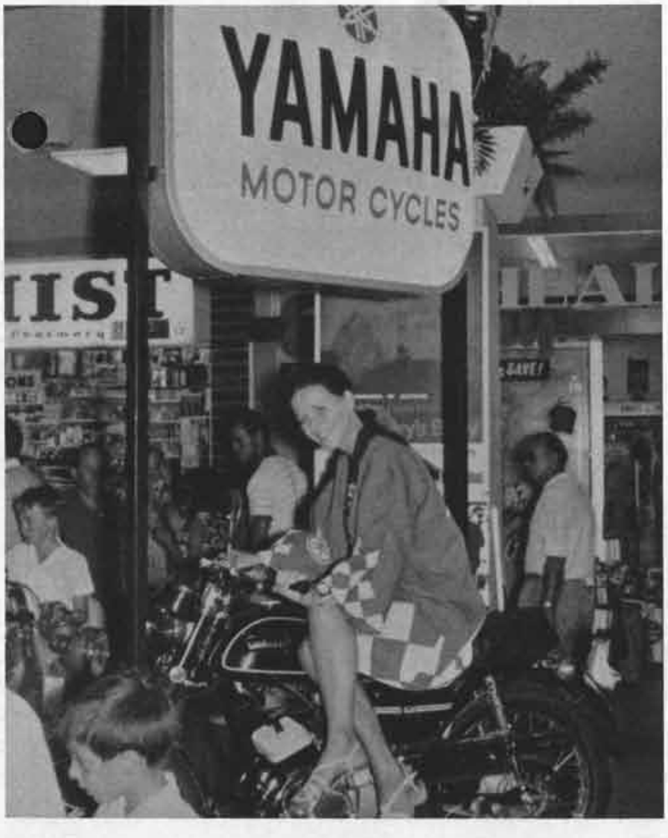
写真はジュニア一二五cc.にヤマハAS1改造レーサーで優勝した和田勤選手（スポーツライダー）

お祭りムードのヤマハコーナー

シドニーで2サイクル車だけのモーターサイクルショー

オーストラリア・シドニー市のメトロポリタンライトサイクルクラブが主催して、銀行通りのショッピングセンターで開催した2ストロークモーターサイクルショーが話題になりました。

とくにヤマハコーナーは、ハッピ姿のモデル嬢が愛きょうをふりまいたり、天井からつり下げられたヤマハ各車が、あんどん状の照明のまわりをグルグルまわったり、はなやかな会場構成で、観客をうっとりさせました。



東住吉でサービス講習会

〔大阪支店東営業所発〕東住吉区は、大阪支内でも人口、面積ともにもっとも大きい地域で、二輪車の販売競争も熾烈です。

この地域のヤマハフレンド店のみなさんにヤマハ製品をいっそう理解していただくため、大阪支店の東営業所では一月十九日、二月十六日、三月十六日の三回にわたって、サービス講習会を開きました。参加フレンド店は毎回四十店をこえました。

第一回目はヤマハの五大セールスポイントの解説と「'69発進ヤマハ」のスライド映写、第二回目は新型商品の説明とメイトのエンジンの分解組立ての実習、そして最終回は電装関係とクレーム対策など、盛り沢山の内容でした。

この三回にわたるサービス講習会をつうじて、フレンド店のみなさんは、今シーズンのヤマハの拡販にむすびつくサービスを身につけました。

半日で四十余台を無料点検

早塚商会で新車発表と点検サービス

〔大阪支店東営業所発〕大阪市東住吉区のヤマハフレンド店・早塚商会では、このほど新車発表会と無料点検サービスを実施しました。

早塚商会は大阪最大の団地を背後にひかえているだけに、販売一本やりの方針をつらぬいています。若い経営者の魅力にひかれて、スポーツ好きの若いお客さまが集まるお店です。春・夏・秋のシーズンには、泊りがけで水泳会やツーリングを行なうなど、多彩な活動で、お客さまの組織づくりをすすめていきます。

ヤマハ全車種のほか、スノーモビル、ボート、船外機なども展示した発表会では、かなりの即売もみられたほか、ボートや船外機の予約もあるなど、大成功でした。

一方、無料点検サービスも半日で四十余台を消化。大きな成果を収めました。

125AT1で2種目制覇をとげたT・ギブソン選手の豪快なジャンプ。

AT1、DT1で四クラスに優勝

オーストラリアのギブソン選手

オーストラリアのブリスベンで三月十六日に開かれたダート・スクランブルレースで、ヤマハトレール125AT1、250DT1が圧倒的な強さを発揮しました。

とくに125AT1は、レースの前日に入荷したばかり。まったくチューニング・アップをしないで、出走しましたが、ダート・スクランブルレースで一位、二位。ルマンタイプレースでも優勝しました。

一方、250DT1改造レーサーは、ダート・スクランブルレース250cc級、500cc級の両種目に優勝するなど、AT1に負けず劣らずの奮闘ぶりでした。

二月の二輪車輸出 月間最高を記録

国産二輪車の人気は、海外でますます高くなるばかり。世界中、南極から北極まで、国産二輪車の走らないところはないといった状態で、このほど月間最高輸出を記録した。

（日刊工業新聞、三月二十七日）

二輪車の二月の輸出は北アメリカ向けの好調に支えられ月間最高を記録した。日本自動車工業会が二十六日発表した二月の二、三輪車輸出実績によると、二輪車は十四万八千五十八台となり、過去最高であった昨年十二月の十三万四千三百七十五台を大幅に上回り月間最高を記録した。

世界の二輪車生産 日本をトップに 六百万台を越す

オートバイは、日本が名実ともに世界一の名をほしいままにしているが、世界各地のメーカーも手をこまねいているわけではない。

世界の二輪車工業の現状を、二輪車新聞が連載しているが、その中から興味のあるところをダイジェストしてみよう。

現在、全世界で一年間につくられるモーターサイクルは六百数十万台というぼう大な量に達しており、この数字は非常に広大な国際市場の存在ばかりでなく、無視することのできない工業潜在力の存在を示している。

今日のモーターサイクルの生産国を生産台数の多い順にあげると、つぎのようになる。

まず日本の二百二十四万台をトップに、フランス百十万台、この二カ国が百万台以上。五十万台以上の国はソビエト連邦七十五万台、イタリア六十一万台の二国、十万台以上は東ドイツ二十万台、チェコスロバキア二十万台、ポーランド十七万九千台、西ドイツ十六万八千台、スペイン十三万台、オランダ十万三千台の六カ国、以下イギリス九万五千台、オーストリア九万四千台、インド六万二千台、アメリカ五万台、ユーゴスラビア四万九千台、ベルギー四万六千台、ノルウェー二万二千台、アルゼンチン七千六百台となっている。

東京の保有車両 百七十八万台 二輪自動車は九万一千台

（二輪車新聞四月十日）

このところわが国の自動車保有台数は止まるところを知らず上昇一途をたどり、ついに一千三百六十万台に達している。このうち約二三％以上の百七十万台が東京に集約している。

東京都陸運事務所が集計した本年二月末現在における東京都の自動車保有車両数はついに百七十八万五百八十六台に達した。これは前月（一月）末現在に比較すると一万八千五百九十三台の増加であったが、この増加数は過去一年間平均増加数をかなり下回っている。

当月の保有台数を各車種別にみると、貨物車は七十四万七千六百台で前月よりわずか六千台の増加にすぎなかった。これは小型四輪車で四千五百台、軽四輪車で一千二百七十一台の増加となり、軽四輪車がやや低調であった。また三輪車は小型車で二百台、軽三輪で二百五十台の減少と減少数は年々大きくなっている。

全体からして乗用車が貨物車より十四万近くも多いのは都市の特徴であり、全国の保有数は貨物車の方がはるかに多い。

一方、二輪車をみると、当月は小型二輪、軽二輪とも前月を下回った。これは他の車種と異り二輪車は販売において季節に左右されるため当月は不需要期にあたり減少したものである。二輪車総保有台数九万一千四百十五台は全国の約一三％を占めているがその内訳は小型二輪が一万三千四百台、軽二輪車が七万八千十五台で前月に比べては、いずれも三十二台、百十二台、合計で百五十四台の減少であった。このうち軽二輪車は長い間減少が続いているが、小型二輪車はわずかながら増加をたどっていたにもかかわらず、不需要期のため前々月あたりから微減に転じているが、あたたかくなるとともにこの減少も再び増加へと変っていくであろう。

東京都の自動車保有数 44．2月末現在

	車種	2月	1月
二輪車	小型二輪車	13,400	(13,432)
	軽二輪車	78,015	(78,137)
	二輪車計	91,415	(91,569)
貨物車	普通車	78,623	(77,935)
	小型車	457,957	(462,265)
	被けん引車	1,534	(1,505)
	軽四輪車	188,525	(187,254)
	軽三輪車	16,681	(16,930)
	貨物車計	747,628	(741,581)
乗合車	普通車	10,695	(10,567)
	小型車	4,939	(4,914)
	乗合車計	15,634	(15,481)
乗用車	普通車	27,070	(26,979)
	小型車	764,697	(754,327)
	軽四輪車	103,208	(101,383)
	乗用車計	894,375	(882,689)
特殊車	普通車	14,267	(14,086)
	小型車	9,348	(9,333)
	大型特殊車	7,919	(7,254)
	特殊車計	30,934	(30,673)
	総計	1,780,586	(1,761,993)

ＦＲＰ漁船の認識高まる
岩手県が指導にのり出す

ヤマハで発売したＦＲＰ製漁船、ヤマハ和船の好調を裏づけるように、全国の指導機関や、監督官庁でもＦＲＰ漁船の採用を示唆する例が多くなった。

（日刊工業新聞三月二十八日）

これまでの漁船は木造船が主流を占めていたが、木材不足、熟練した船大工の減少、安全性などの面から鋼鉄製漁船が普及してきた。ところが鋼鉄船は建造費が高く船主の頭痛のタネで、最近では強化プラスチック製漁船が登場しつつある。すでに三十㌧級の底引き船さえ出現しているという。

岩手県の場合はイソ漁業用サッパ船が二、三隻導入されているにすぎないが、一部の造船所ではプラスチック化時代の新到来を見越して試作をはじめようとしているほか、船主のなかにも二十㌧級のプラスチック漁船の導入を計画している向きもある。

公害対策をすすめる
「自動車研」発足——

排気ガスは今社会問題の中心、ヤマハが四年前、オートループの発表のとき、排気の問題をとりあげたが、その頃はまだ誰も関心を示さなかったのが、嘘みたいな話。

（日刊工業新聞）

日本自動車工業会（会長川又克二氏＝日産自動車社長）は二日、茨城県筑波山ろくの谷田部町にある財団法人「自動車高速試験場」を一日付で改組し、新たに財団法人「日本自動車研究所」を発足させたと発表した。同研究所の理事長には川又氏が、また研究所長には近藤政市氏（東京工大名誉教授、工学博士）が就任した。

新発足した日本自動車研究所は自動車の排出ガスの無害化、安全化や高速化、自動化、快適化、軽量化、経済化などの問題を自動車メーカー各社が共同研究しようという新構想による研究法人。民間業界でこのように本格的な共同研究所を設けているのは電力業界の電力中央研究所などを除いては比較的少く、自動車業界としても世界的にめずらしいといわれる。

史上最悪のペース
交通事故の悲しい記録——

確実に毎年記録を更新しているのが交通事故、今年も史上最高を記録しそうないきおい。自動車を扱う一人一人が、この記録だけは伸ばさないよう努力してください。

（朝日新聞三月二十日）

警察庁が二十日集計したところによると、十九日までの全国の交通事故による死者は二千九百八十六人に達し、二十日中に三千人の大台を越えることが確実となった。二十一、二十三日の飛石連休など本格的な春の行楽シーズンを迎えて、さらに事故の多発が心配されることや十九日に岡山でトラックとバスの衝突事故があったことなどから同庁は二十日、全国の警察に「トラックの過労運転取締りとバスの事故を防ぐため万全の対策を取るよう」指示した。

これまでの死者が三千人を越えた時点は、史上最悪といわれた去年が三月三十日、四十一年が三月二十八日で、ことしはこれらを大幅に上回っている。とくに死者が多いのは愛知県二百一人、東京百八十人、大阪百七十四人、神奈川百七十三人、兵庫百十六人、などで、これまで事故が頭打ちとなってきたとみられていた大都市での事故増加と、道路の改良などで交通だけが都市化している中小県での増加が目立つ。

開設した
交通安全指導センター

取締まりより安全の指導を。警察当局の考えも変ってきました。

（モーターサイクリスト　五月号）

さる三月十五日、警視庁交通部は東京都世田谷区喜多見町の旧トヨタ自動車教習所跡に交通安全指導センターを開設した。

この開設は、交通事故の原因は自動車の運転者にあるとしたこれまでの考えから、交通事故の防止は、まず交通安全教育で、という考えに変ってきたのが要因である。

警視庁交通部では火曜日から日曜日までの毎日、実地と学習による指導を行なうが、そのうち二輪運転者には、水曜日が当てられている。

週間講習スケジュール

火曜日　安全運転管理者と学童幼児
水曜日　二輪運転者
木曜日　四輪運転者
金曜日　〃
土曜日　安全運転管理者と学童幼児
日曜日　安全運転管理者と四輪運転者

★オプショナルパーツ・コーナー

ヤマハトレール 250DT1

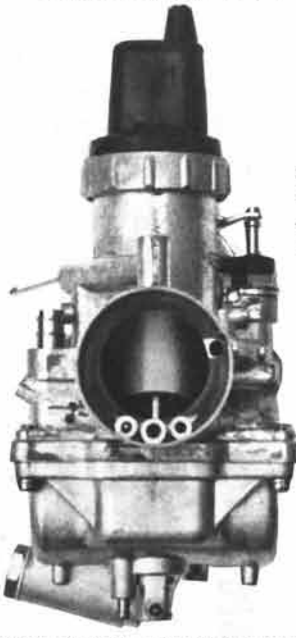
オートバイにうるさいお客さんが無条件で惚れるヤマハトレール 250 ＤＴ１。世界中に豪快なトレールライディングを流行らせた名車です。しかもオプショナルパーツでチューニングアップすれば、出力も30馬力。モトクロスに無敵の威力を発揮します。

214-11111-70・ヘッドシリンダ
実力No.１のモトクロサーにするチューニングキット ¥ 1,900

127-24650-00 ¥ 650
ロックキー付タンクキャップ
駐車時も安心、錠付キャップ

サブキャリヤ(市販品)荷物の積載に便利、丈夫なキャリヤ

214-11311-70・ボディシリンダ
実力No.１のモトクロサーにするチューニングキット ¥13,500



214-14101-70・キャブレタアセンブリ
実力No.１のモトクロサーにするチューニングキット ¥ 3,600

214-24710-00
シングルシートアセンブリ
切りつめて精悍なスタイルにするセミダブルシート
¥ 3,800

214-11611-70・リングピストン
実力No.１のモトクロサーにするチューニングキット ¥ 480

214-11631-70
ピストン
モトクロサー用 ¥ 1,250

214-24724-00・ダンパシート
セミダブルシート取付用 ¥30

214-22210-10
リヤクッションユニット
重荷重用
¥ 3,300

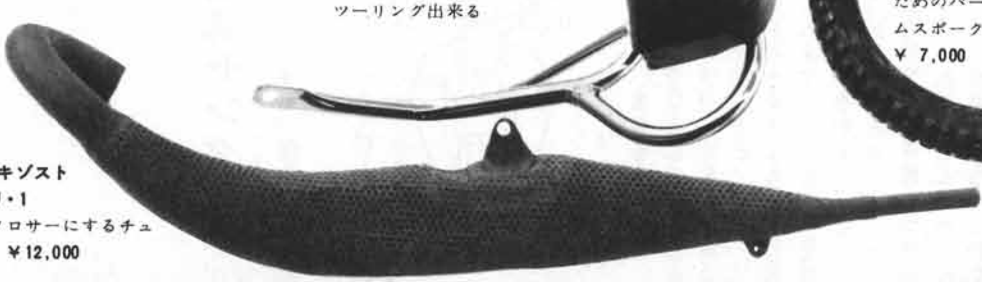
214-21787-00・エンブレム(エンデュロ)
トレールエンブレムのバリエーション ¥60

218-21787-00・エンブレムチェッカーフラッグ ¥180

193-21787-00・エンブレムチェッカーフラッグ ¥180

シートバック(パッセンジャー)
(市販品)タンデムライダーが楽にツーリング出来る

94127-21071・タイヤ(フロント)
2.75－21インチタイヤ(フロント)を装着するためのパーツ 他にリムスポークがあります。
¥ 7,000



214-14610-70・エキゾストパイプアセンブリ・1
実力No.１のモトクロサーにするチューニングキット ¥12,000

第8回東京ボートショーひらく

マイボート時代の焦点　ヤマハボート

マイボート時代の夜明けを告げる第8回東京ボートショーが、3月21日から4日間にわたって、東京晴海で開催されました。ショー会場の焦点は、もちろん新しい感覚でデザインされたトリマラン14シリーズを中心に、かずかずの新艇を飾ったヤマハコーナーです。

ローボートから15.5㍍の業務艇「天竜丸」まで、広い会場をうずめたヤマハボート群。

若さが選ぶ キャリアが選ぶ

ヤマハスポーツシリーズ完成

YAMAHA SPORTS

ヤマハニュース NO. 71 ●昭和44年5月1日発行 ●発行所 ヤマハ発動機株式会社＝静岡県浜北市中条 ●発行人 小池久雄